OLYMPUS®

ボイストレック

VN-702PC

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる
ところに必ず保管してください。

失敗のない録音をするために
試し録りをしてください。

JP

はじめに

- 本書の内容については将来予告なしに変更する場合があります。商品名、型番など、最新の情報についてはカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 取扱説明書で使用している液晶画面や本機のイラストは実際の製品とは異なる場合があります。また、本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたらカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の著作権はオリンパス株式会社、およびオリンパスイメージング株式会社が所有しております。本書を無断で複製したり、複製物を無断で配布したりすることは著作権法により禁じられています。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害や、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関しても、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

商標および登録商標について

- ボイストレック（Voice-Trek）はオリンパス株式会社の登録商標です。
- IBM、PC/AT は、International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Media は Microsoft Corporation の登録商標です。
- microSD と microSDHC は、SD Card Association の商標です。
- Macintosh、iTunes は米国アップル社の商標です。
- MP3 オーディオ符号化技術は Fraunhofer IIS 社と Thomson 社からのライセンスに基づき製品化されています。

その他の本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。




目次

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取扱説明書をお読みになって、正しく安全にお使いください。また、お読みになった後は、いつでも見られるように必ずお手元に保管してください。

安全に関する重要事項

- 安全に関する重要事項は、以下の表示と文章で示されます。あなたと他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために、必ず守ってください。
- 表示の意味は、次のようになっています。

> ⚠ **危険**
>
> **この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される」内容を示します。**
>
> ⚠ **警告**
>
> **この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。**
>
> ⚠ **注意**
>
> **この表示は、「誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される」内容を示します。**

使用上のご注意

- 直射日光下の車の中や夏の海岸など、高温・多湿の場所に放置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。
- 水気がついたら、すぐに乾いた布で水分を拭き取ってください。特に塩分は禁物です。
- 清掃するとき、アルコールやシンナーなど、有機溶剤を使用しないでください。
- テレビ・冷蔵庫などの電気製品の上や近くに置かないでください。
- 砂や泥をかぶらないようにご注意ください。修理不可能なほどの故障になることがあります。
- 強い振動やショックを与えないでください。
- 水気の多い場所で使用しないでください。
- 磁気カード（銀行のキャッシュカードなど）をスピーカやイヤホンの近くに置くと、磁気カードに格納されたデータに異常が生じることがあります。

<データ消失に関する注意事項>

- メモリへの記録内容は誤操作、機器の故障、修理などで破壊されたり消えることがあります。大切な記録内容はパソコンのハードディスク、MO などのメディアにバックアップし、保存されることをおすすめします。
- 本製品は故障 , 当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じたデータの消失による損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

<録音したファイルに関する注意事項>

- 本機やパソコンの故障により、録音したファイルが消去されたり再生不能となった場合でも、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。

本機について

⚠ 警告

- **可燃性ガス、爆発性ガスなどが大気中に存在するおそれのある場所では使用しないでください。**
  引火・爆発の原因となります。
- **分解、修理、改造をしないでください。**
  感電やけがをするおそれがあります。
- **車両（自転車、バイク、車など）の運転をしながら操作しないでください。**
  交通事故などの原因となります。
- **この製品を幼児、子供の手の届く範囲に放置しないでください。**
  幼児、子供の近くで使用するときは細心の注意を払い、不用意に製品から離れないでください。幼児、子供には警告・注意の内容の理解ができませんし、加えて以下のような事故のおそれがあります。例えば
  - 誤ってイヤホンコードを首に巻き付け、窒息する。
  - 操作を誤りケガや感電事故などを起こす。
- **microSD ／ microSDHC カード以外は、絶対に本機に入れないでください。**
  その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。
- **水に落としたり、内部に水や金属、燃えやすい異物が入ったら、**
  ① 速やかに電池を抜いてください。
  ② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。
- **航空機内や病院など使用に制限のある場所ではご使用をお避けになるか、その場所の指示に従ってください。**
- **異臭、異常音、煙が出ていたりするなどの異常を感じたときは使用を中止してください。**
  火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り出し、販売店、当社修理センター、またはサービスステーションにご連絡ください（電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください）。
- **本機をストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意してください。**

⚠ 注意

- **操作前から、音量を上げないでください。**
  聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

電池について

⚠ 危険

- **火気のある場所に電池を置かないでください。**
- **火の中への投入、加熱、⊕と⊖極間のショート、分解をしないでください。**
  火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- **直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしないでください。**
- **⊕と⊖端子を接続しないでください。**
  発熱や感電・火災の原因となります。
- **電池を持ち運んだり、保管する際は必ずケースに入れて、端子部分を保護してください。キーホルダーなどの貴金属と一緒に、携帯・保管しないでください。**
  発熱や感電・火災の原因となります。
- **電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口などに直接接続しないでください。**
- **直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しないでください。**
  液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。

⚠ 警告

- **濡れた手で触ったり持ったりしないでください。**
  感電・故障の原因となります。
- **外装にキズや破損がある電池は使用しないでください。**
  破裂・発熱の原因となります。
- **電池の極性（⊕と⊖）を逆に入れないでください。**
  電池は、液漏れ、発熱、発火、破裂するおそれがあります。
  - 外装シール（絶縁被覆）の破れた電池を使わないでください。
  - 長期間使用しないときは、必ず電池を取り出して保管してください。
  - 使用済みの電池は接点部分にテープを貼って絶縁し、一般廃棄物として各自治体の指示に従って廃棄してください。
  - 使えなくなった電池は速やかに本機から取り出してください。液漏れのおそれがあります。
- **電池の液が目に入った場合は失明のおそれがありますので、こすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い流したあと、直ちに医師の診断を受けてください。**
- **電池は幼児・子供の手の届くところに置かないでください。**
  電池は幼児・子供が飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- 万一 、使用中に異常な音がする、異常に熱い、焦げ臭い、煙が出るなどの異常を感じたら、
  ① けがをしないように注意しながら速やかに電池を抜いてください。
  ② お買い上げ店またはオリンパスサービスステーションへ修理に出してください。放置すると火災や火傷の原因となります。
- 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさないでください。
- 液漏れ、変色、変形、その他の異常が発生した場合は、使用を中止してください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ **注意**

- 容量、種類、銘柄の異なる電池を一緒に混ぜて使用しないでください。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。

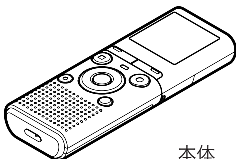
ご使用になる前の準備

主な特長

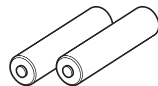
- 多彩な録音形式に対応。MP3 形式（MPEG-1/MPEG-2 Audio Layer3）をはじめ、WMA（Windows Media Audio）形式にも対応。ファイルを高圧縮で保存できるので長時間録音も可能です（☞ P.31）。
- 大容量記録メディアに対応。内蔵フラッシュメモリのほか、市販品の microSD カードにも記録できます（☞ P.14）。
本機で動作確認済みの microSD カードについては、当社 Web サイトでご確認ください。
http://olympus-imaging.jp/
- 音声に反応して自動的に録音の開始・停止を行う音声起動録音（VCVA）機能（☞ P.32）やノイズをカットして録音するローカットフィルタ機能（☞ P.31）を搭載しています。
- ノイズをカットして、音声をクリアに再生できる音声フィルタ機能（☞ P.33）を搭載しています。
- 用途に合わせて、あらかじめ録音の音質や、録音に関するメニュー設定を登録することができる録音シーン設定機能を搭載しています（☞ P.18、P.33）。
- ファイルの検索に便利なカレンダー検索機能を搭載しています（☞ P.16）。
- 多彩なリピート機能を搭載しています（☞ P.24、P.34）。
- 本機で録音したファイル（MP3）を分割できます（☞ P.29）。
- インデックスマーク・テンプマーク機能で、聞きたい場所をすばやく探すことができます（☞ P.23）。
- 再生スピードをお好みに合わせて調節できます（☞ P.22）。
- USB2.0 に対応しているので、パソコンにデータを高速で転送することができます。
- ディスプレイの文字を大きくし、見やすさを向上しています。お好みに合わせて文字を小さくすることもできます（☞ P.35）。

同梱品を確認する

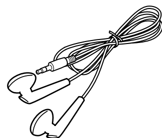
お買い上げの商品には次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



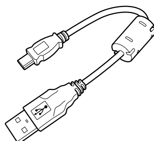
本体



単 4 形乾電池× 2



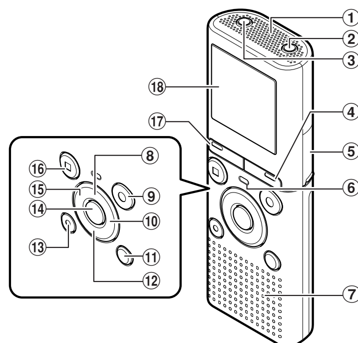
イヤホン

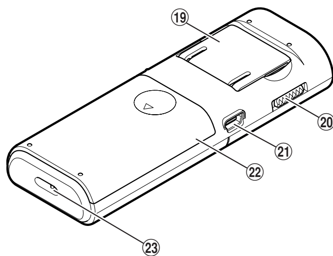


USB 接続ケーブル

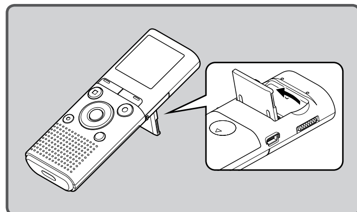
- 取扱説明書（保証書付）

各部のなまえ





① 内蔵マイク
② **マイク**ジャック
③ **イヤホン**ジャック
④ **カレンダー/シーン**ボタン
⑤ カードカバー
⑥ LED表示ランプ（LED）
⑦ 内蔵スピーカ
⑧ **＋**ボタン
⑨ **録音**（●）ボタン
⑩ **▶▶I**ボタン
⑪ **フォルダ/インデックス**ボタン



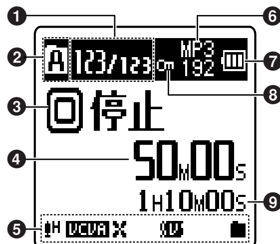
- 必要に応じてスタンドを立ててお使いください。

⑫ **－**ボタン
⑬ **消去**ボタン
⑭ **▶OK**ボタン
⑮ **I◀◀**ボタン
⑯ **停止**（■）ボタン
⑰ **メニュー**ボタン
⑱ ディスプレイ（液晶パネル）
⑲ スタンド
⑳ **電源/ホールド**スイッチ
㉑ USB端子
㉒ 電池カバー
㉓ ストラップ取り付け部

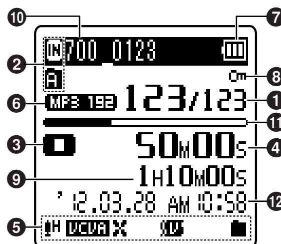
ディスプレイ（液晶パネル）

ディスプレイに表示する文字の大きさを変えられます。
詳しくは「**表示する文字サイズの設定［Font Size］**」をご覧ください（☞ P.35）。

［文字サイズ］が［大］のとき



［文字サイズ］が［小］のとき



❶ ファイル番号／フォルダ内の総ファイル数

❷ 記録メディア表示
［ ］（ ）：microSD カード
（ ）：内蔵フラッシュメモリ

フォルダ表示

❸ 本機の動作状態
［ ］（ ）：録音表示
［ ］（ ）：録音一時停止表示
［ ］（ ）：停止表示
［ ］（ ）：再生表示
（ ）：早聞き再生表示
（ ）：遅聞き再生表示
［ ］（ ）：早送り表示
［ ］（ ）：早戻し表示

❹ 録音経過時間、再生経過時間

❺ アイコン表示部
［ ］：録音レベル
［ ］：VCVA
［ ］：ローカットフィルタ
［ ］：音声フィルタ
［ ］［ ］：再生モード

❻ 録音モード表示

❼ 電池表示

❽ ファイルロック表示

❾ 録音可能な残り時間、ファイルの長さ

❿ 現在のファイル名*

⓫ メモリ残量バー表示、再生位置バー表示*

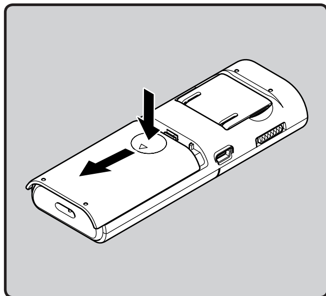
⓬ 録音日時*

* ［**文字サイズ**］が［**小**］のときのみ表示されます。

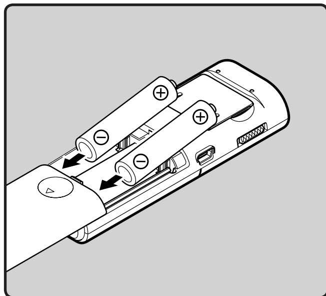
電源について

電池を入れる

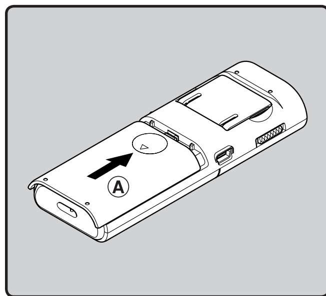
1 電池カバーを上から軽く押しながらスライドさせて開ける



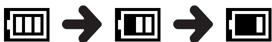
2 単４形電池の ⊕ と ⊖ を正しい向きで入れる



3 電池カバーを Ⓐ の方向にスライドさせ完全に閉める



電池表示について



ディスプレイに［▮］が表示されたら、早めに新しい電池に交換してください。電池がなくなると、［▯］と［**電池残量がありません**］と表示され、動作が停止します。

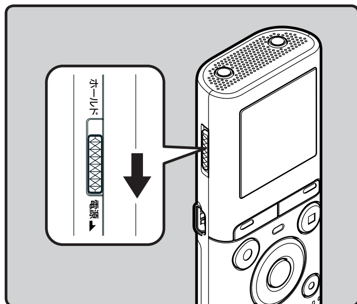
ご注意

- 交換の際は単４形アルカリ乾電池をご使用ください。
- 長期間本機をご使用にならない場合、電池を取り外してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

本機の電源が切れている状態で
電源 / ホールドスイッチを矢印の方向へスライドさせる



電源を切る

電源 / ホールドスイッチを矢印の方向へ 0.5 秒以上スライドさせる

- レジューム機能により電源を切る前の停止位置を記憶して電源が切れます。

スリープモードについて

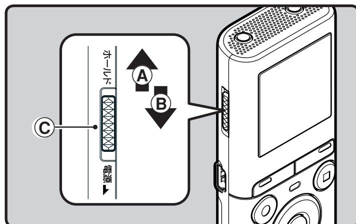
電源を入れて停止状態のまま 5 分以上経過すると、ディスプレイ表示が消え、スリープ（省電力）モードになります。

- スリープモードを解除するには、いずれかのボタンを押してください。

誤操作を防止する ーホールド機能

ホールドにする（Ⓐ）

録音中または再生中に、電源 / ホールドスイッチを [ホールド] の位置にスライドさせる



- ディスプレイに [**ホールド**] が表示され、ホールド状態になります。



ホールドを解除する（Ⓑ）

電源 / ホールドスイッチを ⓒ の位置にスライドさせる

ご注意

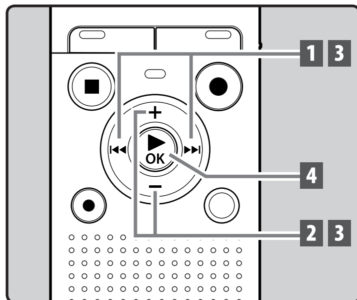
- ホールドの状態でいずれかのボタンを押すと、時計表示が 2 秒間点灯しますが動作しません。
- 再生（または録音）中にホールドにすると、再生（録音）状態のまま操作ができなくなります（再生が終了したり、メモリ残量がなくなって録音が終了すると停止状態になります）。

日付・時刻を合わせる [Time & Date]

日付と時刻を設定しておくと、「いつ録音した」という情報がファイルごとに自動で記録されます。録音したファイルの管理を容易にするために、あらかじめ日付・時刻合わせをしてください。

ご購入後初めてご使用になるときや電池を入れ替えた場合は、自動的に「時」表示が点滅します。





1 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して設定項目を選ぶ

- 「**時**」「**分**」「**年**」「**月**」「**日**」の中から、設定したい項目に点滅を合わせてください。

2 ＋またはーボタンを押して設定する

3 手順 1 ～ 2 を繰り返して表示されている残りの項目を設定する



▶▶I、I◀◀ ボタン：
設定項目を移動します。

＋、ーボタン：
数値を変更します。

- 時、分の設定中、**フォルダ / インデックス**ボタンを押すたびに、12 時間表示と 24 時間表示が切り替わります。
- 年、月、日の設定中、**フォルダ / インデックス**ボタンを押すたびに［**年**］［**月**］［**日**］表示の順序が切り替わります。

4 ▶OK ボタンを押して設定を完了する

- 設定した日時で本機の時計が動き始めます。時報などに合わせて **▶OK** ボタンを押してください。

ご注意

- 設定の途中に **▶OK** ボタンを押すと、それまでに確定した項目が設定され時計が動き始めます。
- 停止中に**停止**（■）ボタンを押し続けると［**現在日時**］や［**メモリ残量**］（録音可能な残り時間）を確認できます。

日付・時刻の設定を変えるには

［**本体設定**］メニューから［**時計設定**］を選びます。

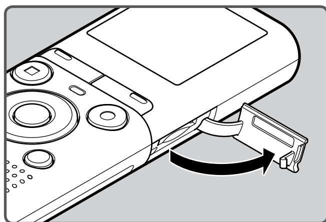
- 詳しくは「**メニュー設定のしかた**」をご覧ください（☞ P.27）。

microSD カードを入れる／取り出す

本書に記載されている「microSD」とは microSD と microSDHC の両方をさします。本機では内蔵メモリのほかに市販の microSD カードをご使用になれます。

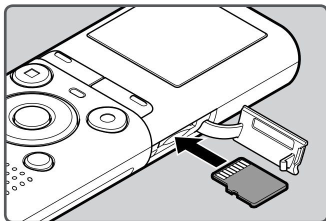
microSD カードを入れる

1 停止中にカードカバーを開ける



2 図のように microSD カードの向きを正しく合わせて入れる

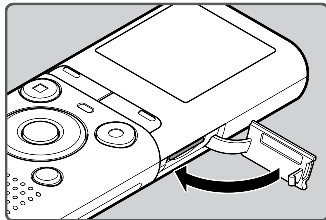
- microSD カードが斜めに入らないようにまっすぐに入れます。



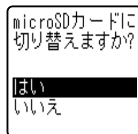
- microSD カードの向きを間違えたり、斜めに入れると接触面が破壊されたり、microSD カードが抜けなくなる場合があります。
- microSD カードがカチッと音がする奥まで挿入されていないと、microSD カードに記録できない場合があります。

3 カードカバーを閉じる

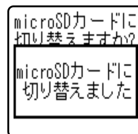
- microSD カードを入れると、記録メディアの切り替え画面が表示されます。



4 microSD カードに記録する場合、**+**または**−**ボタンを押して［**はい**］を選ぶ



5 ►**OK** ボタンを押して設定を完了する



1

microSD カードを入れる／取り出す

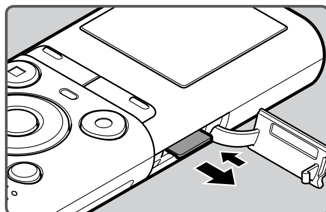
ご注意

- 記録メディアを内蔵メモリへ切り替えることもできます（☞ P.36）。
- パソコンなどの他の機器でフォーマット（初期化）した microSD カードは、認識できない場合があります。お使いになる前に、必ず本機で初期化してください（☞ P.38）。

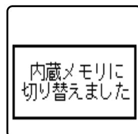
microSD カードを取り出す

1 停止中にカードカバーを開ける

2 microSD カードを一度奥に向かって押し込んで、そのままゆっくり戻す



- microSD カードが手前に出て止まります。microSD カードをつまんで取り出してください。
- ［**メモリ選択**］の設定を［**microSD カード**］にしていた場合、［**内蔵メモリに切り替えました**］と表示されます。



3 カードカバーを閉じる

ご注意

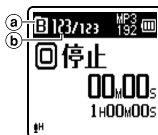
- microSD カードを取り出す際に、microSD カードを押した指をすぐにはなしたり、指ではじくようにして押し出すと、microSD カードが勢いよく飛び出すことがあります。
- microSD カード、microSDHC カードにおいて、本機との相性により製造メーカーやカードの種類によっては正しく認識しないことがあります。
- 当社基準における動作確認済の microSD カードについては、当社ホームページのサポートページをご覧ください。
  http://olympus-imaging.jp/
  ホームページでは、当社が動作確認を行った microSD カードの製造メーカーとカードの種類を紹介していますが、当社がお客様に対して microSD カードの動作保障をするものではありません。また、各製造メーカーの仕様変更などにより、正しく認識できなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ご利用の際は、microSD カードに付属の取扱説明書を必ずお読みください。
- microSD カードが認識されない場合、microSD カードを取り出してからもう一度入れ直し、本機で認識するか試してください。
- microSD カードの種類によっては処理速度が遅くなる場合があります。また、microSD カードは書き込みや削除を繰り返すことによって処理能力が落ちることがあります。この場合、microSD カードを初期化しなおしてください（☞ P.38）。
- 動作確認を行った microSD カードにおいて全ての動作を保障するものではありません。

フォルダとファイルの選びかた

本機には［A］～［E］まで 5 つのフォルダがあります。各フォルダに最大 200 件ずつのファイルを収納できます。

1 停止中に**フォルダ / インデックス**ボタンを押す

- **フォルダ / インデックス**ボタンを押すたびにフォルダが切り替わります。



ⓐ フォルダ表示
ⓑ ファイル番号

2 ►►I または I◄◄ ボタンを押してファイルを選ぶ

ファイルを検索する

録音した日付から音声ファイルを検索できます。どのフォルダに録音したのかを忘れてしまっても、日付が分かっていればすぐに探し出せます。

1 停止中に**カレンダー / シーン**ボタンを押す



ⓐ 現在の日付
ⓑ ファイルを録音した日付

2 ＋、－または ►►I、I◄◄ ボタンを押して日付を選ぶ



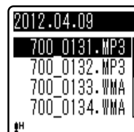
ⓒ 選択した日付

►►I、I◄◄ ボタン：
前日／翌日へ移動します。
＋、－ボタン：
前週／翌週へ移動します。

- ファイルが保存されている日付にはアンダーバーが表示されます。

3 ►**OK** ボタンを押す

- 選んだ日付に保存されているファイルがリスト表示されます。



4 ＋または－ボタンを押してファイルを選ぶ

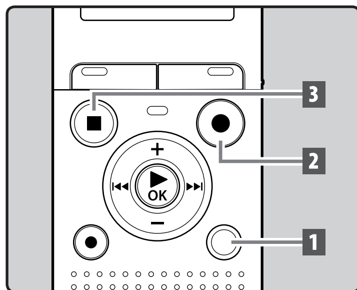
5 ►**OK** ボタンを押して再生を開始する

ご注意

- 祝日表示は対応していません。

録音する

録音を開始する前に［A］～［E］のフォルダを選んでください。［A］フォルダはプライベート用、［B］フォルダはビジネス用といったように、録音する内容によって使い分けると便利です。

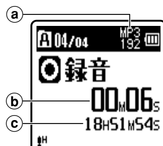


1 録音するフォルダを選ぶ（☞ P.16）

- 新しく録音した音声は、選んだフォルダの一番後ろのファイルとして保存されます。

2 録音（●）ボタンを押して録音を開始する

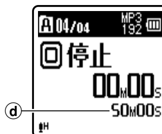
- 録音したい方向に内蔵マイクを向けます。



ⓐ録音モード
ⓑ録音経過時間
ⓒ録音可能な残り時間

- 録音中は［**録音モード**］の変更ができません。停止中に設定してください（☞ P.31）。

3 停止（■）ボタンを押して録音を停止する



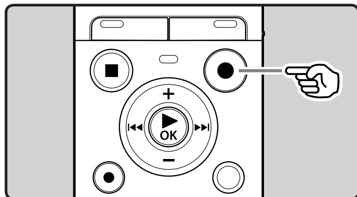
ⓓファイルの長さ

ご注意

- 頭切れを防ぐために、LED 表示ランプの点灯やディスプレイのモード表示を確認してから録音を行ってください。
- 録音可能な残り時間が 60 秒になると、LED 表示ランプが点滅を開始し、30 秒、10 秒と残量が減るにつれて点滅が早くなります。
- ［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示された場合、これ以上録音できません。フォルダを変更するか、不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.26）。
- ［**メモリがいっぱいです**］と表示された場合、メモリがいっぱいです。不要なファイルを消去してから録音をしてください（☞ P.26）。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.36）。
- 本機の内蔵マイクでステレオ録音（［**192kbps**］または［**128kbps**］モード）すると、内蔵マイクでのモノラル録音となり、左チャンネル（Lch）と右チャンネル（Rch）の両方に同じ音声を録音します。

一時停止する

録音中に、**録音（●）ボタン**を押す



- 録音一時停止のまま 60 分以上過ぎると停止状態になります。

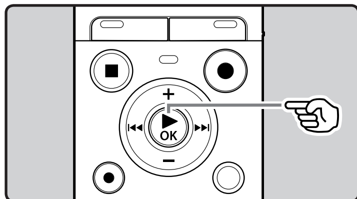
■ 録音を再開するには：

録音（●）ボタンをもう一度押す

- 一時停止したところから録音を再開します。

録音内容をすばやく確認する

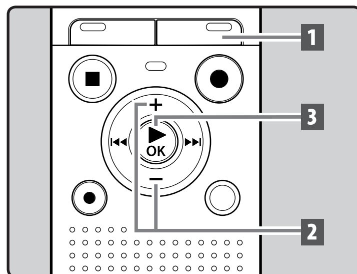
録音中に、**▶OK ボタン**を押す



- 録音を中断し、今録音したファイルを再生します。

録音シーンを切り替える

録音シーンは簡単に切り替えができます。あらかじめ録音に関する設定を登録すると、その設定内容で録音を操作できます（☞ P.33）。



1 停止中に**カレンダー / シーンボタン**を押し続ける

2 **＋**または**－ボタン**を押して録音シーンを選ぶ



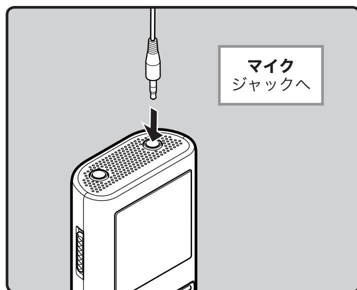
3 **▶OK ボタン**を押す

外部マイクや他の機器から録音する

外部マイクや他の機器を接続し、音声を録音できます。

- 本機のジャックへの抜き差しは、録音中に行わないでください。

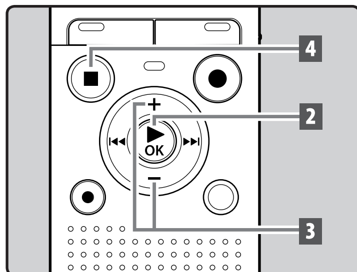
本機の**マイク**ジャックに外部マイクを接続する



ご注意

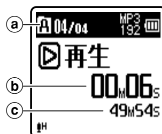
- 本機の**マイク**ジャックに外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは動作しなくなります。
- プラグインパワー対応のマイクがご使用になれます。
- ［**録音モード**］の設定をステレオ形式にした場合、外部モノラルマイクを接続して録音するとＬチャンネルのみに音声が録音されます（☞ P.31）。
- ［**録音モード**］の設定をモノラル形式にした場合、外部ステレオマイクを接続して録音するとＬチャンネルマイクのみの録音となります（☞ P.31）。
- 外部マイクを接続して録音する場合、接続コードをディスプレイに近づけると、ノイズが発生することがあります。
- 外部機器を接続する場合、試し録音をして外部機器の出力レベルを調整してください。

再生する



1 再生するファイルが収録されているフォルダからファイルを選ぶ（☞ P.16）

2 ▶**OK** ボタンを押して再生を開始する



ⓐフォルダ表示
ⓑ再生経過時間
ⓒファイルの長さ

3 ＋または－ボタンを押して聞きやすい音量にする



- ［**00**］～［**30**］の範囲で調整できます。

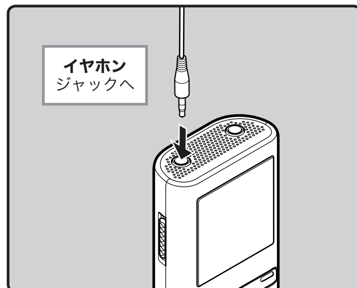
4 停止（■）ボタンを押して再生を停止する

- 再生しているファイルの途中で停止します。レジューム機能が働き電源を切っても停止位置を記憶します。次に電源を入れたときに記憶した停止位置から再生できます。

イヤホンで聞く

本機の**イヤホン**ジャックにイヤホンを接続して聞くことができます。

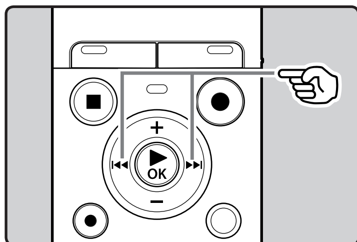
- イヤホンを接続すると、スピーカから音は出ません。



ご注意

- 耳への刺激を避けるため、音量を［**00**］にしてからイヤホンを入れてください。
- 再生中イヤホンで聞く場合、音量をあまり上げないでください。聴覚障害、聴力低下を引き起こすおそれがあります。

早送り・早戻しをする



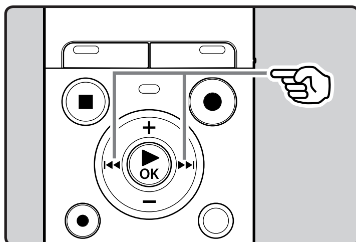
停止中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続ける

- ▶▶I または I◀◀ ボタンから手を離すと停止します。▶**OK** ボタンを押すと、その位置から再生します。

再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押し続ける

- ▶▶I または I◀◀ ボタンから手を離すと、その位置から再生します。
- ファイルの途中にインデックスマークやテンプマークがついているときは、その位置でいったん停止します (☞ P.23)。
- ▶▶I：ファイルの終わりまで進むといったん停止します。さらに ▶▶I ボタンを押し続けると、次のファイルの先頭から早送りを続けます。
- I◀◀：ファイルの先頭まで戻るといったん停止します。さらに I◀◀ ボタンを押し続けると、前のファイルの終わりから早戻しを続けます。

ファイルの頭出しをする



停止中または再生中に ▶▶I ボタンを押す

- 次のファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを押す

- 再生中のファイルの頭出しをします。

停止中に I◀◀ ボタンを押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。ファイルの途中で停止している場合、そのファイルの頭出しをします。

再生中に I◀◀ ボタンを 2 回押す

- 1 つ前のファイルの頭出しをします。

ご注意

- 再生中に頭出しをした場合でもファイルの途中にインデックスマークやテンプマークが記録されている場合は、その位置から再生を開始します。停止中の場合は頭出しをします（☞ P.23)。
- 再生中に頭出しをしたときに、［**スキップ間隔**］が［**ファイルスキップ**］以外に設定されている場合、設定時間分だけスキップまたは逆スキップして再生を開始します（☞ P.34)。

音楽ファイルについて

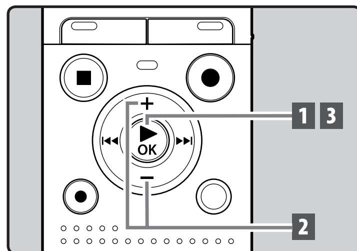
本機に転送した音楽ファイルが再生できない場合、サンプリングレート、ビットレートが再生できる範囲かご確認ください。本機で再生できる音楽ファイルのサンプリングレートやビット数、ビットレートの組み合わせは下記のとおりです。

ファイル形式	サンプリングレート	ビットレート
MP3形式	**MPEG1 Layer3 :** 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **MPEG2 Layer3 :** 16 kHz、22.05 kHz、24 kHz	8 kbps から 320 kbps まで
WMA形式	8 kHz、11 kHz、16 kHz、22 kHz、32 kHz、44.1 kHz、48 kHz	5 kbps から 320 kbps まで

- 可変ビットレート（1 つのファイル内でビットレートを可変させて変換）の MP3 ファイルの再生については、正常に動作しない場合があります。
- 本機で再生可能なファイル形式であっても、すべてのエンコーダに対応しているわけではありません。

再生スピードを切り替える

会議の内容を早聞きしたり、語学学習で聞き取れなかった箇所を遅聞きするなど、必要に応じて切り替えてください。



1 再生中に ▶**OK** ボタンを押す

2 **+**または**−**ボタンを押して再生スピードを選ぶ



［**1.0 倍速**］（通常再生）：
通常の再生スピードです。
［**0.5 倍速**］から［**0.9 倍速**］（遅聞き再生）：
再生スピードが遅くなります。
［**1.1 倍速**］から［**2.0 倍速**］（早聞き再生）：
再生スピードが早くなります。

3 ▶OK ボタンを押す



- 再生を停止しても、変更した再生スピードはそのまま保持されます。次回の再生では変更した早さで再生を行います。

早聞き再生の制限事項について

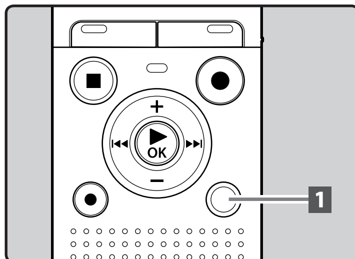
再生ファイルのサンプリング周波数やビットレートによっては、正常に動作しない場合があります。その場合は、早聞き再生の速度を落として再生してください。

ご注意

- 早聞き・遅聞き再生時でも、通常の再生と同じように、再生の停止、ファイルの頭出し、インデックスマーク・テンプマークの挿入などの操作ができます。
- ［**音声フィルタ**］が設定されていても、早聞き・遅聞き再生は使用できます（☞ P.33）。

インデックスマーク・テンプマークをつける

インデックスマークやテンプマークをつけると、早送り・早戻しやファイルの頭出し操作で、聞きたい位置をすばやく探せます。本機以外の機器で作成されたファイルにはインデックスマークがつけられませんが、代わりにテンプマークをつけることで聞きたい位置の一時記憶ができます。

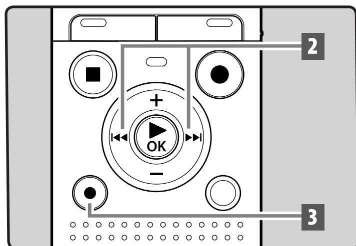


1 録音中または再生中に、インデックスマーク・テンプマークをつける位置で、**フォルダ / インデックス**ボタンを押す

- インデックスマーク・テンプマークをつけたあとも録音または再生は続きますので、同様の操作で他の場所にインデックスマーク・テンプマークをつけることができます。



インデックスマーク・テンプマークを消去する



1 消去したいインデックスマークまたはテンプマークのあるファイルを再生する

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して消去したいインデックスマーク・テンプマークを選ぶ



3 ディスプレイにインデックス・テンプ番号が表示されている間（約 2 秒間）に、**消去**ボタンを押す

- インデックスマーク・テンプマークが消去されます。



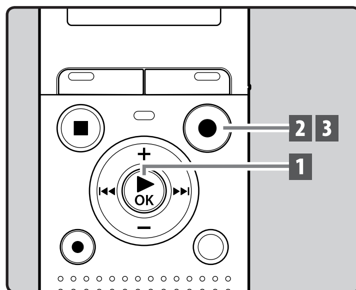
- 消去したインデックスマーク・テンプマーク以降の番号は自動的に繰り上がります。

ご注意

- テンプマークは一時的なマーキングですので、他のファイルへの移動、パソコンとの接続などを行うと自動的に消去されます。
- インデックスマーク・テンプマークは 1 つのファイル内に最大で 99 件までつけることができます。99 件を超えてインデックスマーク・テンプマークをつけようとすると［**これ以上記録できません**］と表示されます。
- ファイルロックをかけてあるファイルは、インデックスマーク・テンプマークをつけたり消去することができません（☞ P.29）。

部分リピート再生のしかた

再生中のファイルの一部分を繰り返し再生できます。



1 部分リピートしたいファイルを選び、再生を開始する



2 部分リピート再生の開始位置で、**録音**（●）ボタンを押す

- ディスプレイの［A］が点滅します。



- この［A］の点滅中も通常の再生中と同じように再生スピードの切り替え（☞ P.22）や、早送り・早戻し（☞ P.21）が行え、終了位置まで早く進められます。
- ［A］の点滅中にファイルの終わりまで到達した場合、そこが終了位置になり、リピート再生を開始します。

3 部分リピート再生を終了させたい位置で、もう一度**録音**（●）ボタンを押す

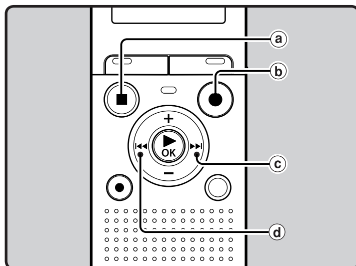
- 部分リピート再生を解除するまで、繰り返し再生します。



ご注意

- 部分リピート再生中も通常再生と同じように、再生スピードを変えることができます（☞ P.22）。また、部分リピート再生中にインデックスマークやテンプマークの挿入・消去をした場合、部分リピート再生が解除され通常の再生に戻ります（☞ P.23）。

部分リピート再生を解除する

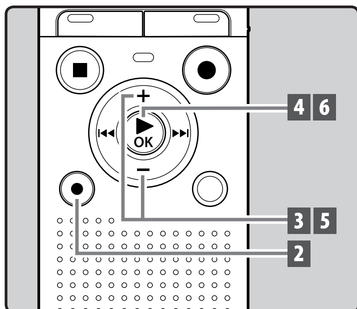


下記のいずれかのボタンを押すと、部分リピート再生は解除されます。

ⓐ **停止**（■）ボタンを押す
ⓑ **録音**（●）ボタンを押す
ⓒ ▶▶Iボタンを押す
ⓓ I◀◀ボタンを押す

消去する

フォルダ内の消去したいファイルを消去できます。また、選んだフォルダ内のファイルすべてを消去できます。



1 消去したいファイルを選ぶ（☞ P.16）

2 停止中に**消去**ボタンを押す

3 **+**または**−**ボタンを押して［**フォルダ内消去**］または［**1 件消去**］を選ぶ



- 操作中に 8 秒間何も操作しないと停止状態に戻ります。

4 **▶OK** ボタンを押す

5 **+** ボタンを押して［**開始**］を選ぶ



6 **▶OK** ボタンを押す





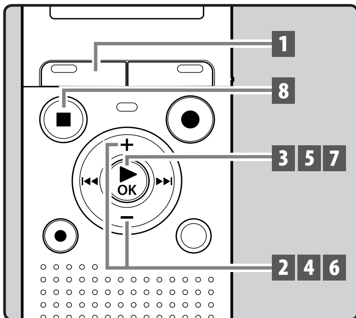
- ディスプレイが［**消去中！**］に変わり、消去を開始します。［**消去完了**］と表示されたら終了です。

ご注意

- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.36）。
- ファイルロック設定のあるファイルや読み取り専用に設定されているファイルは消去されません（☞ P.29）。
- 処理中に電池が切れることのないように、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。
  データが破損するおそれがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。
  ① 処理中に電池を取り外す。
  ② 記録メディアが［**microSD カード**］の場合、処理中にカードを取り外す。
- 本機ではフォルダは消去できません。

メニュー設定のしかた

メニュー内の各項目は分類されているので、すばやく目的の項目が設定できます。メニューの各項目は次の方法で設定が可能です。



1 メニューボタンを押す



2 +または−ボタンを押して設定したい項目を選ぶ



3 ►OK ボタンを押してカーソルを設定項目へ移動させる

- ►►I ボタンを押しても操作できます。



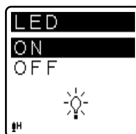
4 +または−ボタンを押して設定項目を選ぶ



5 ►OK ボタンを押す

- 選んだ項目の設定に移動します。
- ►►I ボタンを押しても操作できます。

6 +または−ボタンを押して設定を変更する



7 ►OK ボタンを押して設定を完了する



- ►OK ボタンを押さずに ⏮ ボタンを押すと、設定がキャンセルされ、1 つ前の画面に戻ります。

8 停止（■）ボタンを押してメニュー画面を終了する

- 録音中または再生中にメニュー画面に入った場合、⏮ ボタンを押すと、録音または再生を中断させることなく元の画面に戻ります。

ご注意

- 停止中からの設定では、3 分間何も操作しないと停止状態に戻ります。
この場合、設定途中の項目は変更されません。
- 録音または再生途中からの設定では、8 秒間何も操作しないとメニュー機能はキャンセルされます。

メニューリスト	
[ファイル設定]	[ファイルロック]
	[ファイル分割]
	[プロパティ]
[録音設定]	[録音レベル]
	[録音モード]
	[ローカットフィルタ]
	[VCVA]
	[録音シーン]
[再生設定]	[音声フィルタ]
	[再生モード]
	[スキップ間隔]
[表示／音設定]	[文字サイズ]
	[コントラスト]
	[LED]
	[ビープ音]
	[言語選択（Lang)]
[本体設定]	[メモリ選択]
	[時計設定]
	[設定リセット]
	[初期化]
	[メモリ情報]
	[システム情報]

4
メニュー設定のしかた

ファイル設定 [File Menu]

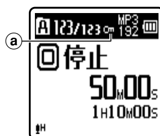
誤消去を防止する［File Lock］

ファイルにファイルロックをかけることにより、重要なファイルの誤消去を防止できます。また、フォルダ内のファイル全消去を行っても消去されません（☞ P.26）。

1 ファイルロックをかけたいファイルを選ぶ（☞ P.16）

2 ［**ファイル設定**］メニューから［**ファイルロック**］を選ぶ

［**ON**］:
ファイルロックがかかります。
［**OFF**］:
ファイルロックが解除されます。



ⓐ ファイルロック

ファイルを分割する［File Divide］

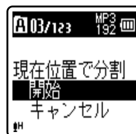
容量の大きいファイルや録音時間の長いファイルを分割して管理・編集しやすくできます。

> ❗ ファイル分割できるファイルは本機で録音した MP3 形式のみです。

1 ファイル分割したい位置で停止させる

2 ［**ファイル設定**］メニューから［**ファイル分割**］を選ぶ

3 **+**ボタンを押して［**開始**］を選び、**►OK** ボタンを押す



- ディスプレイが［**分割中！**］に変わり、ファイル分割を開始します。
- ［**分割しました**］と表示されたら終了です。

ご注意

- フォルダ内のファイル件数が 199 件以上の場合、分割できません。
- MP3 ファイルでも録音時間の極端に短いファイルは分割できない場合があります。
- ファイルロックがかかっているファイルは分割できません。

- 分割後のファイルは、前半部分のファイルは「**ファイル名 _1.mp3**」、後半部分のファイルは「**ファイル名 _2.mp3**」となります。
- ファイルの分割中に電池を抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

ファイルの情報を見る [Property]

あらかじめ情報を確認したいファイルを選んでからメニュー操作を行います。

1 **［ファイル設定］メニューから［プロパティ］を選ぶ**

- ［**名前**］［**日時**］［**サイズ**］［**ビットレート**］が表示されます。





録音設定 [Rec Menu]

録音レベルの設定［Rec Level］

目的に合わせて録音レベルの感度を切り替えられます。

1 **［録音設定］メニューから［録音レベル］を選ぶ**

［**高（会議）**］：
録音感度が高く、大人数の会議など、遠くの音や小さな音の録音に適しています。

［**低（メモ）**］：
録音感度が低く、口述録音に適しています。



ⓐ 録音レベル

ご注意

- 話し手の声をはっきりと録音したい場合、［**録音レベル**］を［**低（メモ）**］に設定し、本機の内蔵マイクを話し手の口に近づけて（5 ～ 10cm）録音してください。

録音モードの設定 [Rec Mode]

ステレオまたはモノラルの録音方式のほか、音質を重視して録音したり録音時間を重視して録音できます。

1 **［録音設定］メニューから［録音モード］を選ぶ**

［MP3］（ステレオ／モノラル）を選んだ場合：

［**192kbps**］（ステレオ）
［**128kbps**］（ステレオ）
［**48kbps**］（モノラル）

［WMA］（モノラル）を選んだ場合：

［**32kbps**］［**16kbps**］［**5kbps**］



ⓐ録音モード

ご注意

- 本機の内蔵マイクでステレオ録音（［**192kbps**］または［**128kbps**］モード）すると、内蔵マイクでのモノラル録音となり、左チャンネル（Lch）と右チャンネル（Rch）の両方に同じ音声を録音します。
- 会議や講演会などをはっきりと録音したい場合、［**録音モード**］の設定を［**5kbps**］以外にして録音してください。
- ［**録音モード**］の設定をステレオ録音方式にして録音すると、モノラルマイクを接続した場合、L チャンネルのみに音声が録音されます。

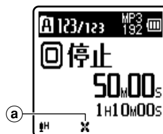
ローカットフィルタ の設定 [Low Cut Filter]

録音時に低周波音をカットし、音声をよりクリアに録音するローカットフィルタ機能を搭載しています。エアコンの空調音やプロジェクターなどのノイズを低減できます。

1 **［録音設定］メニューから［ローカットフィルタ］を選ぶ**

［**ON**］：
ローカットフィルタが機能します。

［**OFF**］：
機能しません。



ⓐローカットフィルタ

4

メニュー設定のしかた

音声起動録音の設定［VCVA］

音声起動録音（VCVA）とは、設定した音声起動レベルよりも大きな音声を感知すると自動的に録音が始まり、音声が小さくなると自動的に録音を一時停止する機能です。会議中の長い沈黙などを自動的にカットして録音することによりメモリを節約できます。

1 ［録音設定］メニューから［VCVA］を選ぶ

［**ON**］：
VCVA が機能します。
［**OFF**］：
機能しません。通常の録音に戻ります。



ⓐ VCVA

■ 音声起動レベルの調整をして録音する：

1 録音（●）ボタンを押して録音を開始する



- 設定した起動感度より音が小さくなると約 1 秒後に自動的に録音がいったん停止します。
  このときディスプレイに［**待機中**］が点滅します。録音起動中は LED 表示ランプが点灯し、いったん停止すると点滅します。

2 ▶▶I または I◀◀ ボタンを押して音声起動レベルを調整する

- ディスプレイに VCVA の音声起動レベルを 15 段階で表示します。
- 数字が大きくなるほど VCVA の起動感度は高くなり、小さな音でも録音が始まるようになります。



ご注意

- 音声起動レベルの調整は 2 秒以内に行わないと表示が元に戻ります。
- 失敗のない録音を行うために、事前に試し録音で音声起動レベルを調整することをおすすめします。

録音シーンの設定 [Rec Scene]

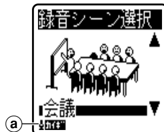
録音する場面や状況に合わせ、録音設定を[**メモ**]、[**商談**]または[**会議**]のテンプレートから選べるほか、お好みの録音設定を保存しておくことができます。

1 **[録音設定]メニューから[録音シーン]を選ぶ**

2 **+または−ボタンを押して設定項目を選び、▶OK ボタンを押す**

[録音シーン選択]を選んだ場合:
+または−ボタンを押して、設定したい[**録音シーン**]を選び、▶**OK** ボタンを押す

[**OFF**]:機能しません。
[**メモ**]:口述録音に適しています。
[**商談**]:小さいスペースでの打ち合わせなどの録音に適しています。
[**会議**]:少人数の会議などの録音に適しています。
[**ユーザー設定**]:
[**録音シーン保存**]で保存した設定で録音します。



ⓐ録音シーン

[録音シーン保存]を選んだ場合:

- 現在設定されている[**録音設定**]メニューの各設定を[**ユーザー設定**]に保存します。

ご注意

- 録音シーン選択時は、録音に関するメニュー設定の変更ができません。
これら機能をご使用になる場合、[**録音シーン**]の設定を[**OFF**]にしてください。

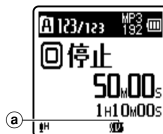
再生設定 [Play Menu]

音声フィルタの設定 [Voice Filter]

再生または早聞き・遅聞き再生時に、低音域と高音域成分をカットし、音声をよりクリアに強調する音声フィルタ機能を搭載しています。

1 **[再生設定]メニューから[音声フィルタ]を選ぶ**

[**ON**]:
音声フィルタが機能します。
[**OFF**]:
機能しません。



ⓐ音声フィルタ

4 メニュー設定のしかた

再生モードを選ぶ［Play Mode］

お好みに合わせて再生モードをお選びいただけます。

1 ［再生設定］メニューから［再生モード］を選ぶ

［再生範囲］を選んだ場合：
［**ファイル**］：
現在のファイルを再生後に停止します。
［**フォルダ**］：
現在のフォルダ内の最終ファイルまで連続再生して停止します。

［リピート］を選んだ場合：
［**ON**］：
リピート再生の設定をする場合に選びます。
［**OFF**］：機能しません。



ⓐ再生モード

ご注意

- ［**ファイル**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、最終ファイルの開始位置で停止します。
- ［**フォルダ**］を設定した状態で、フォルダ内の最終ファイルの終わりまで進むと、ディスプレイに［**ファイルエンド**］が 2 秒間点滅し、フォルダ内にある先頭ファイルの開始位置で停止します。

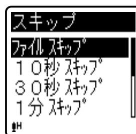
スキップ間隔の設定［Skip Space］

再生中のファイルを設定した間隔だけスキップ（送る）または逆スキップ（戻る）して再生できる機能で、再生位置をすばやく移動したり、短いフレーズを繰り返し再生するときなどに便利です。

1 ［再生設定］メニューから［スキップ間隔］を選ぶ

［スキップ］を選んだ場合：
［**ファイル スキップ**］［**10 秒 スキップ**］
［**30 秒 スキップ**］［**1 分 スキップ**］
［**5 分 スキップ**］［**10 分 スキップ**］

［逆スキップ］を選んだ場合：
［**ファイル スキップ**］
［**1 秒 スキップ**］～［**5 秒 スキップ**］
［**10 秒 スキップ**］［**30 秒 スキップ**］
［**1 分 スキップ**］［**5 分 スキップ**］
［**10 分 スキップ**］



ご注意

- スキップ間隔より近い位置にインデックスマーク・テンプマーク、頭出し位置がある場合、その位置にスキップ・逆スキップします。

■ スキップ・逆スキップ再生のしかた：

1 ▶**OK** ボタンを押して再生を開始する

2 再生中に ▶▶I または I◀◀ ボタンを押す

- 設定した間隔でスキップまたは逆スキップして再生を開始します。

4 メニュー設定のしかた

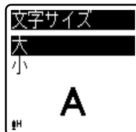
表示／音設定 [LCD/Sound Menu]

表示する文字サイズの設定 [Font Size]

ディスプレイに表示される文字のサイズを設定します。

1 [表示／音設定] メニューから [文字サイズ] を選ぶ

[**大**]：
文字を大きく表示します。
[**小**]：
文字を小さく表示します。



- [**小**] に設定すると画面のレイアウトが変わり、表示する情報量が増えます（☞ P.10)。

ディスプレイのコントラストの設定 [Contrast]

ディスプレイのコントラストを 12 段階に調整できます。

1 [表示／音設定] メニューから [コントラスト] を選ぶ

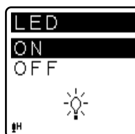


LED の設定 [LED]

LED 表示ランプを点灯しないように設定できます。

1 [表示／音設定] メニューから [LED] を選ぶ

[**ON**]：
LED が点灯します。
[**OFF**]：
LED は点灯しません。



ビープ音の設定 [Beep]

本機はボタン操作を知らせたり誤操作を警告したりするときにビープ音が鳴ります。ビープ音を出したくないときは鳴らないように設定することもできます。

1 [表示／音設定] メニューから [ビープ音] を選ぶ

[**ON**]：
ビープ音が鳴ります。
[**OFF**]：
ビープ音が鳴りません。



言語の設定 [Language(Lang)]

本機は日本語表示と英語表示のどちらかを選べます。

1 [表示／音設定] メニューから [言語選択 (Lang)] を選ぶ



ご注意

- 表示言語を切り替えても、すでに入力してあるファイル名の言語は変わりません。

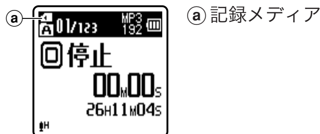
本体設定 [Device Menu]

記録するメディアを選択する [Memory Select]

microSD カードを入れると、内蔵メモリに記録するか microSD カードに記録するか選べます（☞ P.14）。

1 [本体設定] メニューから [メモリ選択] を選ぶ

[**内蔵メモリ**]：内蔵メモリ
[**microSD**]：microSD カード



ⓐ 記録メディア

日付・時刻を変えるには [Time & Date]

現在日時が合っていない場合に設定します。

1 [本体設定] メニューから [時計設定] を選ぶ

- 詳しくは「**日付・時刻を合わせる [Time & Date]**」をご覧ください (☞ P.13)。

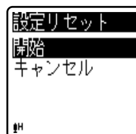
4

メニュー設定のしかた

設定をリセットする [Reset Settings]

各種機能を初期設定（工場出荷時）に戻します。

1 ［**本体設定**］メニューから［**設定リセット**］を選ぶ



■ 設定リセット後のメニュー設定（初期設定）：

録音設定

メニュー項目	初期設定
［**録音レベル**］（☞ P.30）	［**高（会議）**］
［**録音モード**］（☞ P.31）	［**MP3**］：［**192 kbps**］
［**ローカットフィルタ**］（☞ P.31）	［**OFF**］
［**VCVA**］（☞ P.32）	［**OFF**］
［**録音シーン**］（☞ P.33）	［**OFF**］

再生設定

メニュー項目	初期設定
［**音声フィルタ**］（☞ P.33）	［**OFF**］
［**再生モード**］（☞ P.34）	再生範囲：［**ファイル**］ リピート再生：［**OFF**］
［**スキップ間隔**］（☞ P.34）	スキップ再生：［**ファイルスキップ**］ 逆スキップ再生：［**ファイルスキップ**］

表示 / 音設定

メニュー項目	初期設定
［**文字サイズ**］（☞ P.35）	［**大**］
［**コントラスト**］（☞ P.35）	［**06**］
［**LED**］（☞ P.35）	［**ON**］
［**ビープ音**］（☞ P.35）	［**ON**］
［**言語選択（Lang）**］（☞ P.36）	［**日本語**］

本体設定

メニュー項目	初期設定
［**メモリ選択**］（☞ P.36）	［**内蔵メモリ**］

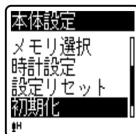
ご注意

- 設定リセット後の時計設定、ファイル番号については、初期設定には戻らず設定リセット前の設定を保持します。

初期化する［Format］

初期化すると記録されているファイルはすべて消去されます。大切なファイルはパソコンに転送してから初期化してください。

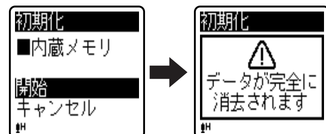
1 ［本体設定］メニューから［初期化］を選ぶ



2 ＋または－ボタンを押して、初期化する記録メディアを選び、►OK ボタンを押す



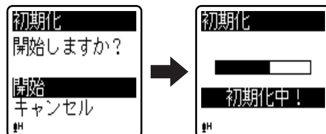
3 ＋ボタンを押して［開始］を選び、►OK ボタンを押す



- ［**データが完全に消去されます**］が 2 秒間表示され、［**開始**］、［**キャンセル**］が点灯します。

4 ＋ボタンを押してもう一度［開始］を選び、►OK ボタンを押す

- ［**初期化中！**］が表示され、初期化が開始されます。



- ［**初期化完了**］が表示されたら初期化終了です。

ご注意

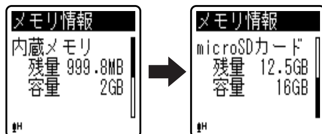
- 本機をパソコンから初期化することは絶対にしないでください。
- 初期化をすると、ファイルロックをかけたファイルや読み取り専用ファイルを含む既存のデータはすべて消去されます。
- 初期化後、録音した音声ファイルは、ファイル名が［**0001**］からとなる場合があります。
- 本機に microSD カードを入れた場合、操作する記録メディアが［**内蔵メモリ**］または［**microSD カード**］のどちらなのか間違えないよう必ず確認してください（☞ P.36）。
- 処理中に電池が切れることのないように、新しい電池に交換してください。また、処理が完了するまで数十秒かかる場合があります。
  データが破損するおそれがありますので、処理中には次のような操作は絶対にしないでください。
  ① 処理中に電池を取り外す。
  ② 記録メディアが［**microSD カード**］の場合、処理中に microSD カードを取り外す。

- 本機での microSD カードの初期化はクイックフォーマットとなります。microSD カード内のデータは、［**初期化**］をしてもファイル管理情報が更新されるだけで完全には消去されません。譲渡・廃棄をする場合には、microSD カード内にあるデータの流出にご注意ください。廃棄の際には、microSD カードを破壊するなどの対処をおすすめします。

記録メディアの情報を見る [Memory Info.]

メニュー画面から記録メディアの記録可能残量や容量を表示できます。

1 ［本体設定］メニューから［メモリ情報］を選ぶ



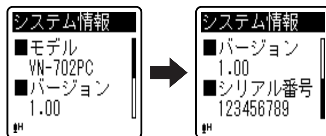
ご注意

- 本機に表示される記録メディアの容量については、本機が使用する管理ファイルの容量分も含まれています。microSD カードでは、規格容量を下回って表示されますが、異常ではありません。

システム情報を見る [System Info.]

メニュー画面から本機の情報を確認できます。

1 ［ファイル設定］メニューから［システム情報］を選ぶ



- ［**モデル名**］［**バージョン**］［**シリアル番号**］が表示されます。

本機をパソコンでお使いいただくためには

本機は音声レコーダーとしての使いかたの他、パソコンの外部メモリとして、パソコンからのデータ保存や読み出しにもご使用できます。

- 本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップ、保存することができます。
- パソコンの画像やテキストデータなどを本機に保存することができます。
- 本機で録音した音声ファイルは、パソコン上では Windows Media Player ／ iTunes を使って再生できます。

パソコンの動作環境

Windows

OS（オペレーティングシステム）:
　Microsoft Windows XP/Vista/7 標準インストール（日本語版）
対応パソコン：
　1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Windows 対応パソコン

Macintosh

OS（オペレーティングシステム）:
　Mac OS X 10.4.11 ～ 10.7 標準インストール（日本語版）
対応パソコン：
　1 つ以上空きのある USB ポートを装備した Apple Macintosh シリーズ

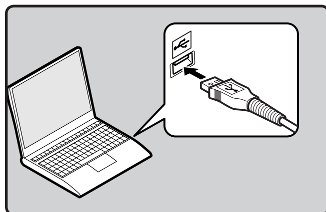
ご注意

- 本機で録音したファイルを USB 接続でパソコンに保存する際の動作環境です。
- パソコンが USB ポートを備えていても、Windows 95/98/Me/2000 から XP/Vista/7 にアップグレードした場合はサポート対象外となります。
- 動作環境を満たしていても、自作パソコンでの不具合は動作保証外とさせて頂いております。

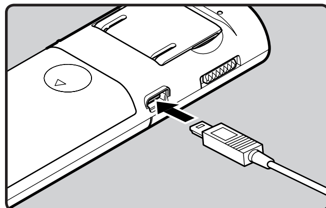
パソコンに接続する

1 パソコンを起動する

2 USB 接続ケーブルをパソコンの USB ポートに接続する



3 本機が停止していることを確認し、本機の USB 端子へ USB 接続ケーブルを接続する



- USB 接続中は、本機のディスプレイに[**PC と接続中**]と表示されます。
- Windows の場合、[**マイコンピュータ**］を開くと、製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っていると、[**リムーバブルディスク**］として使用できます。
- Macintosh の場合、デスクトップ上に製品名のドライブ名で認識されます。microSD カードが入っている場合は［**Untitled**］と表示されます。

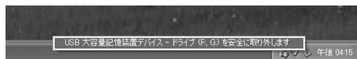
ご注意

- パソコンの USB ポートについては、ご使用のパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- USB コネクタは奥まで確実に差し込んでください。正しく接続されていない場合、正常に動作しません。
- USB ハブを経由して本機を接続すると、動作が不安定になることがあります。この場合、USB ハブを使用しないでください。
- USB 接続ケーブルは必ず付属の専用ケーブルをご使用ください。他社製品をご使用になると、故障の原因となりますので、絶対におやめください。またこの専用ケーブルを他社製品に接続することも絶対におやめください。

パソコンから取り外す

Windows

1 画面右下のタスクバーの [ ] をクリックして、**[USB 大容量記憶装置デバイス－ドライブを安全に取り外します]** をクリックする

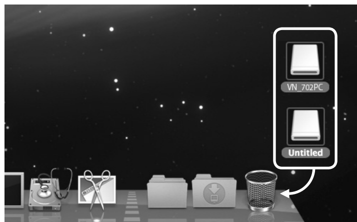


- ご使用のパソコンにより、ドライブのアルファベット表記が異なります。
- ハードウェアの取り外しウィンドウが表示されたら、ウィンドウを閉じてください。

2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

Macintosh

1 デスクトップに表示されている本機のリムーバブルアイコンを、ドラッグ＆ドロップでゴミ箱に移動する



2 本機の LED 表示ランプが消灯していることを確認し、本機をパソコンから取り外す

ご注意

- LED 表示ランプが点滅中は、絶対に USB 接続を取り外さないでください。データが破損するおそれがあります。
- Mac OS の標準環境では、WMA 形式のファイルは再生できません。

故障かな？と思ったら

Q-1　操作を受けつけない。

A-1
- **電源／ホールド**スイッチが［**ホールド**］側になっていませんか？
- 電池が消耗していませんか？
- 電池は正しく入っていますか？

Q-2　再生してもスピーカから音が聞こえない、音が小さい。

A-2
- **イヤホン**ジャックにイヤホンが接続されていませんか？
- ボリュームボタンの操作で適切な音量に調節してありますか？

Q-3　録音できない。

A-3
- 本機が停止中に**停止**（■）ボタンを押し続けると、録音可能時間がゼロになっていませんか？
- **録音**（●）ボタンを押すと［**メモリがいっぱいです**］と表示されませんか？
- **録音**（●）ボタンを押すと［**ファイル件数がいっぱいです**］と表示されませんか？

Q-4　再生の速度が早い（または遅い）。

A-4
- 早聞き再生（または遅聞き再生）になっていませんか？

アクセサリー（別売）

OLYMPUS 製 IC レコーダー専用のアクセサリーは、当社 Web サイトの「オンラインショップ」で直接ご購入いただけます。
http://shop.olympus-imaging.jp/index.html

- ステレオマイクロホン：ME51SW
- コンパクトズームマイクロホン（単一指向性）：ME32
- モノラルマイクロホン（単一指向性）：ME52W
- モノラルタイピンマイク（全指向性）：ME15
- テレホンピックアップ：TP8
- コネクティングコード：KA333
- キャリングケース：CS131

主な仕様

一般事項

■ **記録形式：**
MP3（MPEG-1 Audio Layer3）形式
WMA（Windows Media Audio）形式

■ **サンプリング周波数：**
MP3 形式

192 kbps	44.1 kHz
128 kbps	44.1 kHz
48 kbps	44.1 kHz

WMA 形式

32 kbps	44.1 kHz
16 kbps	22 kHz
5 kbps	8 kHz

■ **ヘッドホン最大出力：**
3 mW + 3 mW（22 Ω負荷時）

■ **記録媒体：**
内蔵型 NAND FLASH メモリ（2GB）
microSD カード
（2 GB ～ 32 GB に対応）

■ **スピーカ：**
ϕ 28 mm 丸型ダイナミックスピーカ内蔵

■ **マイクジャック：**
ϕ 3.5 mm インピーダンス 2 k Ω

■ **イヤホンジャック：**
ϕ 3.5 mm インピーダンス 8 Ω以上

■ **スピーカ実用最大出力：**
250 mW（スピーカ 8 Ω）

■ **電源：**
単 4 形乾電池 2 本（LR03）

■ **外形寸法：**
108 mm × 39 mm × 16.8 mm
（最大突起部含まず）

■ **質量：**
71 g（電池含む）

■ **使用温度：**
0 ～ 42℃

周波数特性

■ **マイクジャック録音時：**
MP3 形式

192 kbps	70 Hz ～ 19 kHz
128 kbps	70 Hz ～ 17 kHz
48 kbps	70 Hz ～ 10 kHz

WMA 形式

32 kbps	70 Hz ～ 13 kHz
16 kbps	70 Hz ～ 7 kHz
5 kbps	70 Hz ～ 3 kHz

■ **内蔵マイク録音時：**
70 Hz ～ 16 kHz
（但し、MP3 形式または WMA 形式で録音する場合、周波数特性の上限値は各録音モードによる）

■ **再生時：**
70 Hz ～ 19 kHz

電池持続時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ アルカリ乾電池：

録音モード		内蔵マイク録音時	内蔵スピーカ再生時	イヤホン再生時
MP3 形式	192 kbps	約 53 時間	約 20 時間	約 60 時間
WMA 形式	5 kbps	約 72 時間	約 21 時間	約 68 時間

ご注意

- 電池持続時間は当社試験法によるものです。使用電池、使用条件により大きく変ります。
- ご使用の電池の性能により電池持続時間は変化します。

録音時間

以下の値はあくまでめやすです。

■ MP3形式：

録音モード	内蔵フラッシュメモリ (2 GB)	microSD カード				
		2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
192 kbps	約 22 時間	約 22 時間	約 44 時間	約 89 時間	約 178 時間	約 358 時間
128 kbps	約 33 時間 30 分	約 33 時間	約 66 時間	約 133 時間	約 268 時間	約 537 時間
48 kbps	約 89 時間 30 分	約 88 時間 30 分	約 177 時間	約 356 時間	約 715 時間	約 1157 時間

■ WMA形式：

録音モード	内蔵フラッシュメモリ (2 GB)	microSD カード				
		2 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB
32 kbps	約 131 時間	約 130 時間	約 259 時間	約 522 時間	約 1047 時間	約 2099 時間
16 kbps	約 258 時間	約 255 時間	約 510 時間	約 1027 時間	約 2061 時間	約 4130 時間
5 kbps	約 823 時間	約 813 時間	約 1623 時間	約 3268 時間	約 6556 時間	約13135時間

ご注意

- 小刻みに録音を繰り返したときは、録音可能時間がこれより短くなる場合があります（録音可能時間および録音時間表示はめやすとしてご使用ください）。
- ご使用の microSD カードにより空き容量に差が出ることがあるため、録音可能時間にも差が発生します。

1ファイルあたりの最長録音時間

- 1 ファイルあたりの最大容量は、WMA 形式、MP3 形式は約 4GB に制限されています。
- メモリ残量にかかわらず、1 ファイルあたりの最長録音時間は下記の値に制限されています。

■ MP3形式：

録音モード	録音時間
192 kbps	約 49 時間 40 分
128 kbps	約 74 時間 30 分
48 kbps	約 198 時間 40 分

■ WMA形式：

録音モード	録音時間
32 kbps	約 26 時間 40 分
16 kbps	約 53 時間 40 分
5 kbps	約 148 時間 40 分

本機の仕様および外観は性能改良などのため、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

＜保証規定＞

1. この保証書は、取扱説明書、品質表示ラベル等の注意書に従った正常なお取扱いにより発生した故障に対して、お買い上げ日から満一年間、当社が無料修理の責任を負うことを保証するものです。
2. 有効期間内に故障して無料修理を受けられる場合は、商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店又は別紙の当社サービスステーションに依頼してください。当社では本機の補修用修理部品は、製造打ち切り後 6 年間をめやすに保有しており、期間中は原則として修理をお受けいたします。期間後でも修理可能の場合もありますのでお問い合わせください。
3. 販売店、または当社サービスステーションにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。製品を送る場合は、必ず書留小包または宅配便をご利用ください。また販売店と当社間の運賃諸掛につきましては、輸送方法によって（問屋便以外を使用した場合）一部ご負担いただく場合があります。
4. ご転居、ご贈答品等でお買い上げ販売店に依頼できない場合は、最寄りの当社サービスステーションにお問い合わせください。
5. この保証書は、本書に明示した期間、条件の元において無料修理をお約束するものです。従って、この保証書は、オリンパスイメージング株式会社、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
6. 本製品の故障に起因する付随的損害（録音、再生に要した諸費用及び録音、再生により得べかりし利益の損失等）については保証致しかねます。
7. 保証期間内でも次のような場合には有料修理になります。
   イ. ご使用上の誤り及び当社サービスステーション及び指定する修理取扱い所以外で行われた修理･改造･分解･掃除等による故障。
   ロ. お買い上げ後の輸送、落下等による故障及び損傷。
   ハ. 火災・異常電圧・地震・水害・落雷・公害・その他、天災・地変による破損又は故障。
   ニ. 本書のご提示がない場合。
   ホ. 本書にお買い上げ年月日、シリアル No.、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
   へ. 電池等の消耗品による故障。
8. 保証の対象は本体のみです。

＜保証書取扱い上の注意＞

本書は日本国内においてのみ有効です。(THIS WARRANTY CARD IS VALID ONLY IN JAPAN)
販売店名およびお買い上げ年月日が記載されていることを確認してください。記入もれがあった場合は直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。

＜保証責任者・保証履行者＞

オリンパス イメージング株式会社
〒 163-0914 東京都新宿区西新宿 2 の 3 の 1
新宿モノリス

保証書

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。お買い上げの日から 1 年以内に故障した場合は本書をご提示の上お買い上げの販売店または当社サービスステーションに修理をご依頼ください。

	無料修理保証期間	部品代	修理工料
本体	1 年	無料	
品名	ボイストレック	型名	**VN-702PC**
シリアル No.		お買い上げ日	年　月　日
販売店名	無効		



オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914　東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様・パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。
また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問い合わせ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ **http://www.olympus.co.jp/** から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）



0120-084215

携帯電話・PHSからは042-642-7499

FAX　042-642-7486

調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています。

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）もオンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様のご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。
お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成後、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」

 **0120-971995**

営業時間：平日 8：00～21：00
土・日・祭日 9：00～17：00（指定休業日を除く）

※ 記載内容は変更されることがあります。

J1-BS0977-01　AP1112